

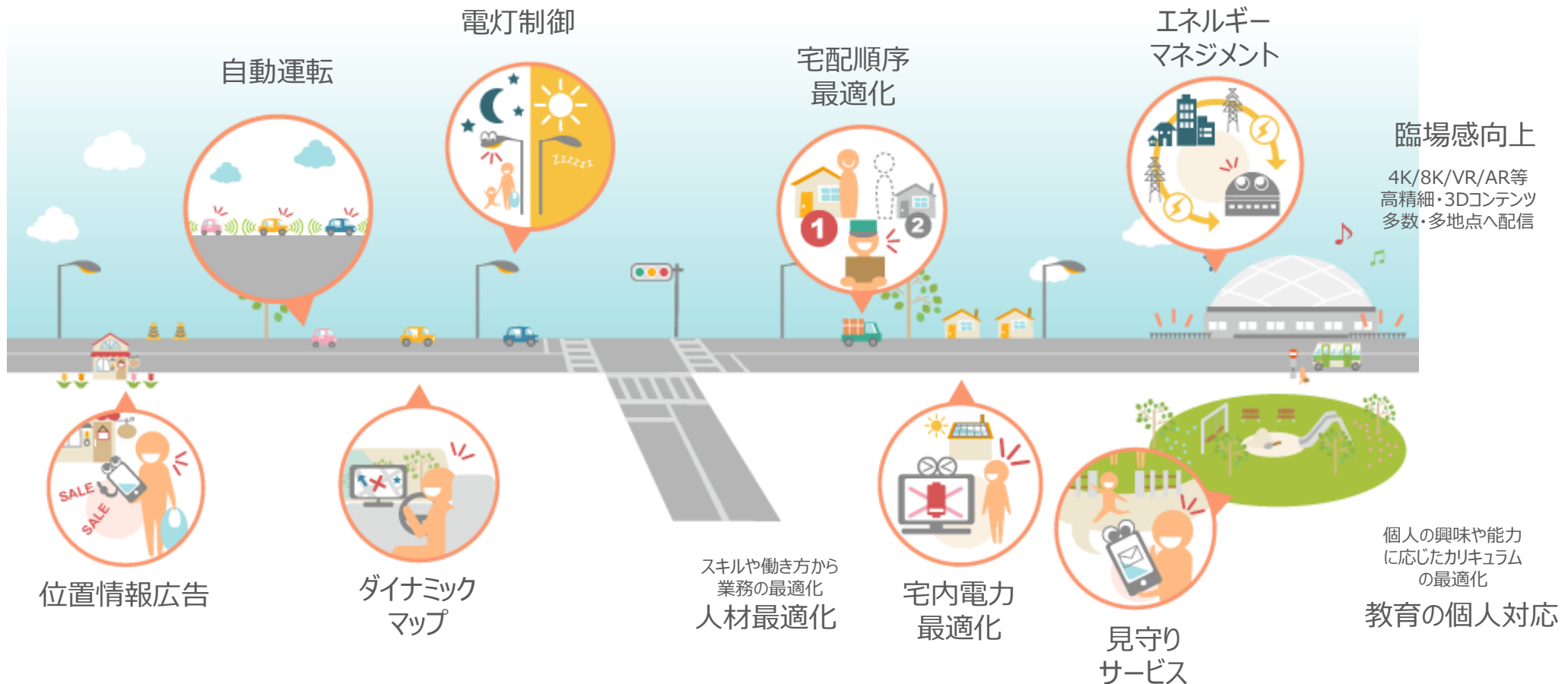
# データ利活用に向けた ICTインフラ×AI

2017年 3月23日

KDDI株式会社

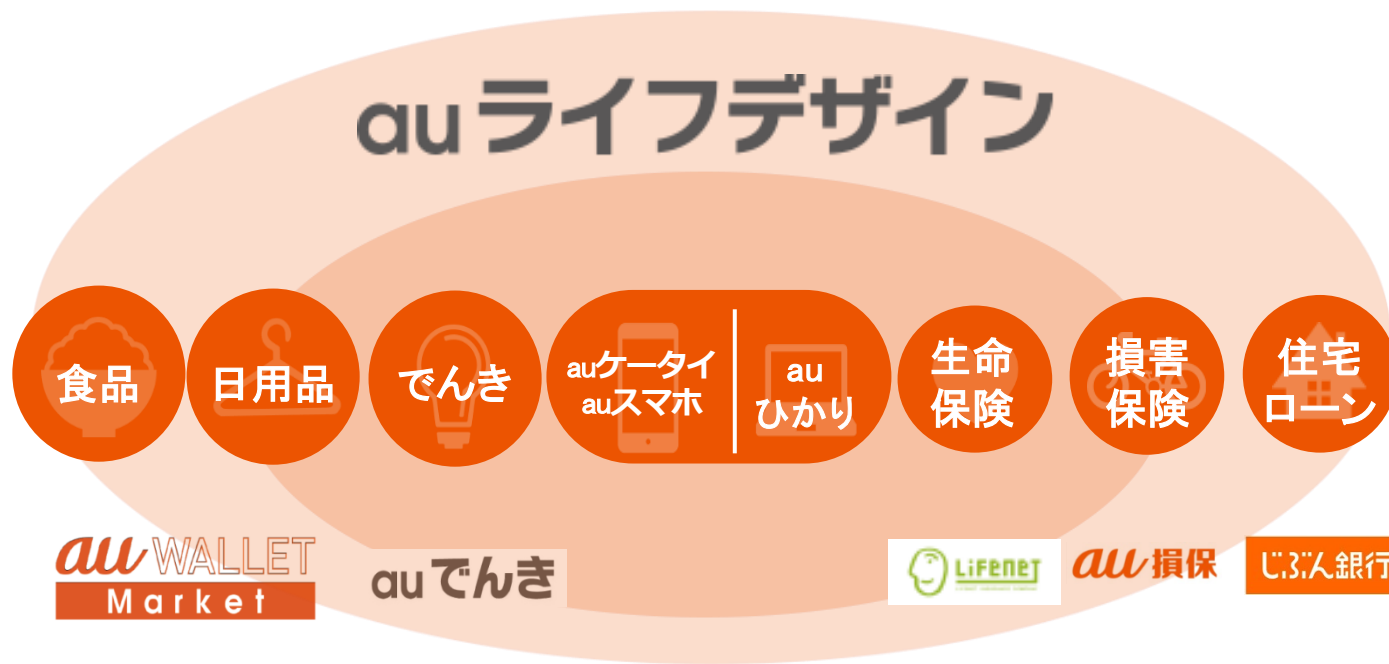
# 実現する未来社会

IoTとそのデータにより、社会が大きく変わるため  
実空間データの利活用を促進する必要がある



# KDDIの目指す姿

ライフデザイン企業としてサービスを提供するため  
実空間データの利活用に取り組んでいます



# KDDIにおけるデータ利活用の取り組み

実空間データの利活用高度化には  
**AIの適用および強化が必須**

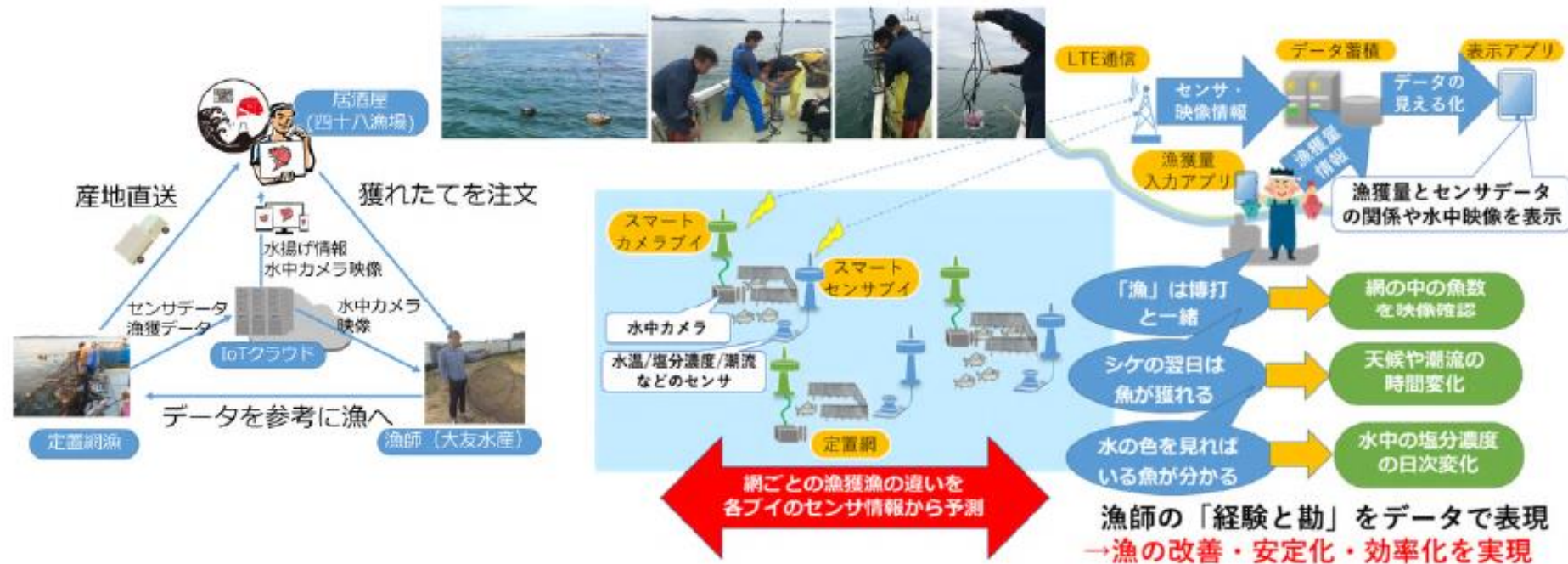
スマート漁業

HEMSビッグデータ解析

運用自動化

タクシー向け多言語翻訳

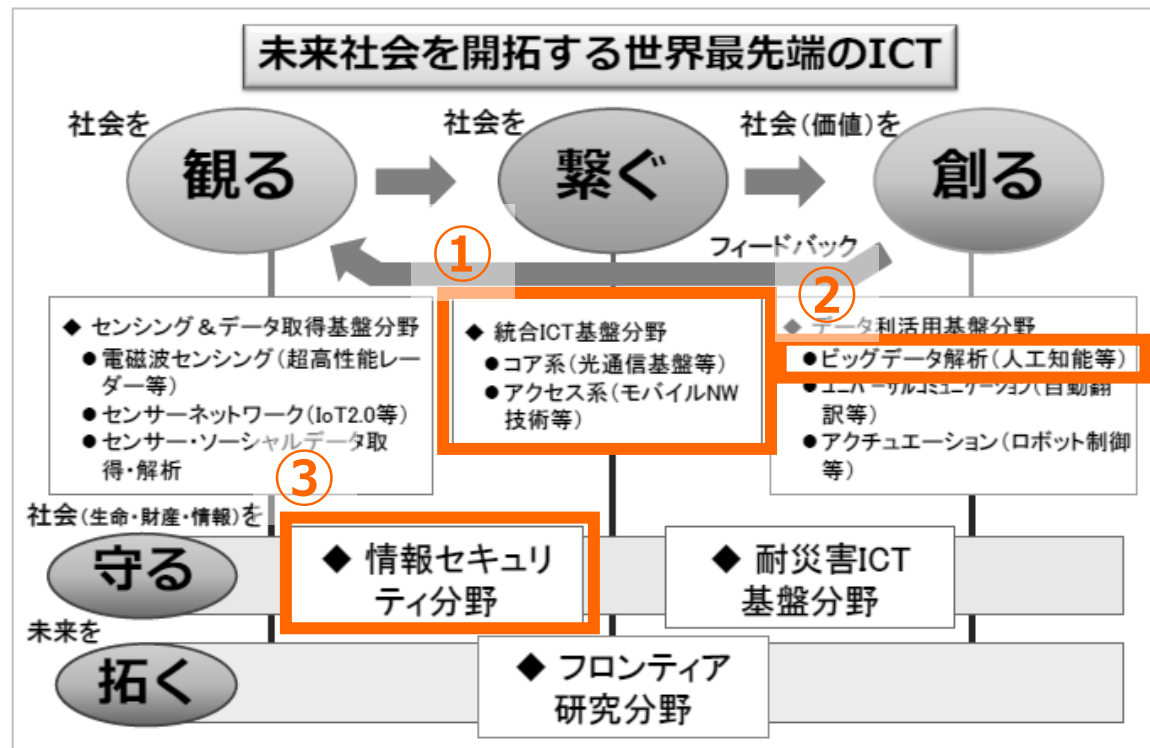
センサ技術×ビジネスモデル革新で「経験と勘」の漁業をもっとスマートに



- ・漁師の経験とセンサデータを機械学習し、魚の量とタイミングを正確に予測し、人件費と燃料費を大幅削減
- ・漁師の獲った魚が消費者の手に直接届く新たな産地直送モデルを確立

# AIの強化で必要になる要素

- ① 5Gや光ファイバでの**高速なアクセス網**
- ② **多様なデータを処理するプラットフォーム**
- ③ **柔軟なプライバシー管理とセキュリティ**

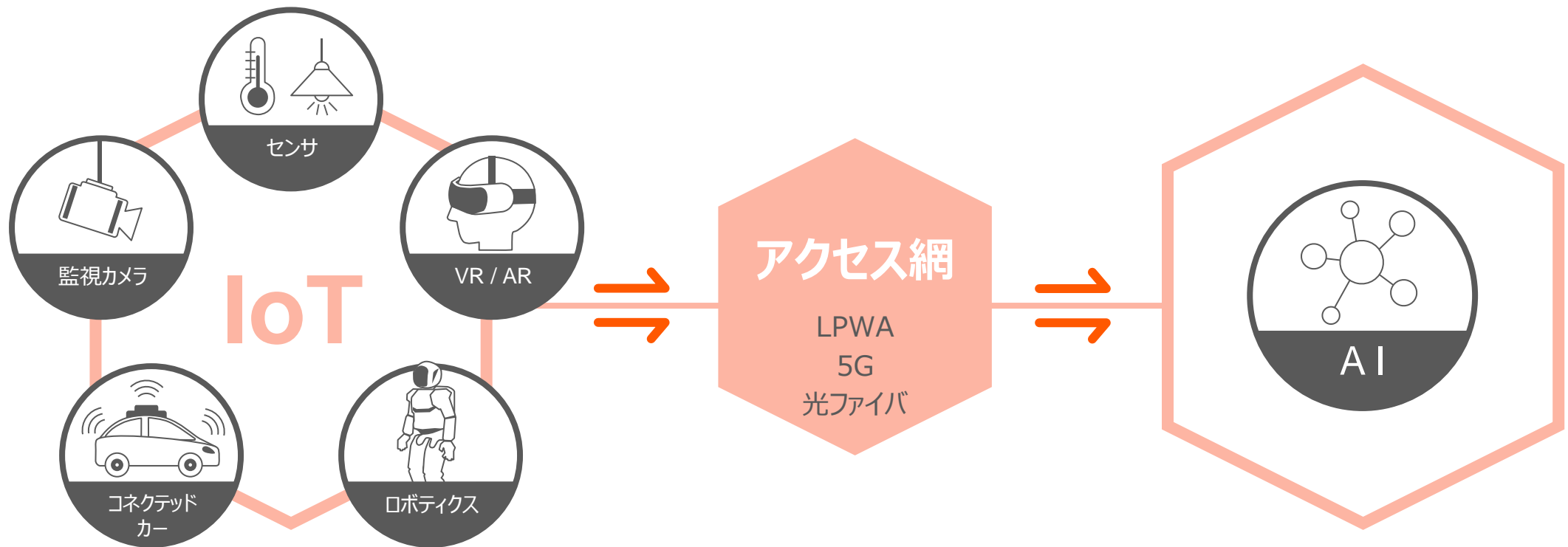


(平成27年7月 情報通信審議会中間答申より引用)

# 実空間データの収集に適した通信

大容量かつ広範囲なカバレッジの通信を実現できる

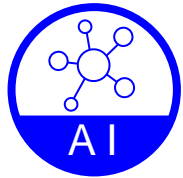
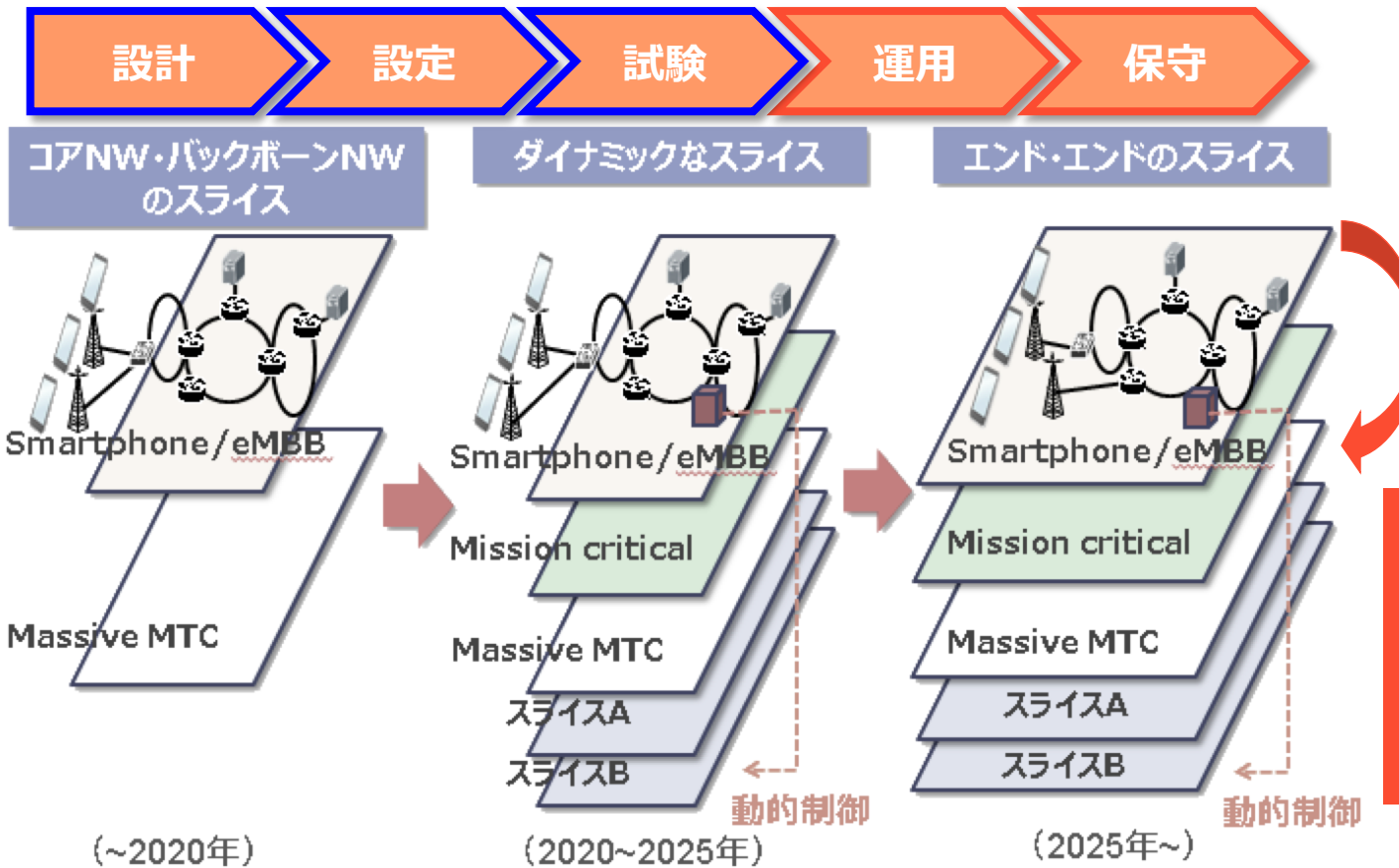
5Gや光ファイバ等での**高速アクセス網**が必要



# AIの適用で高度化するネットワーク

増加するデータ種別と多様化する要件に対応するため

## AIの適用でのネットワーク高度化が必要



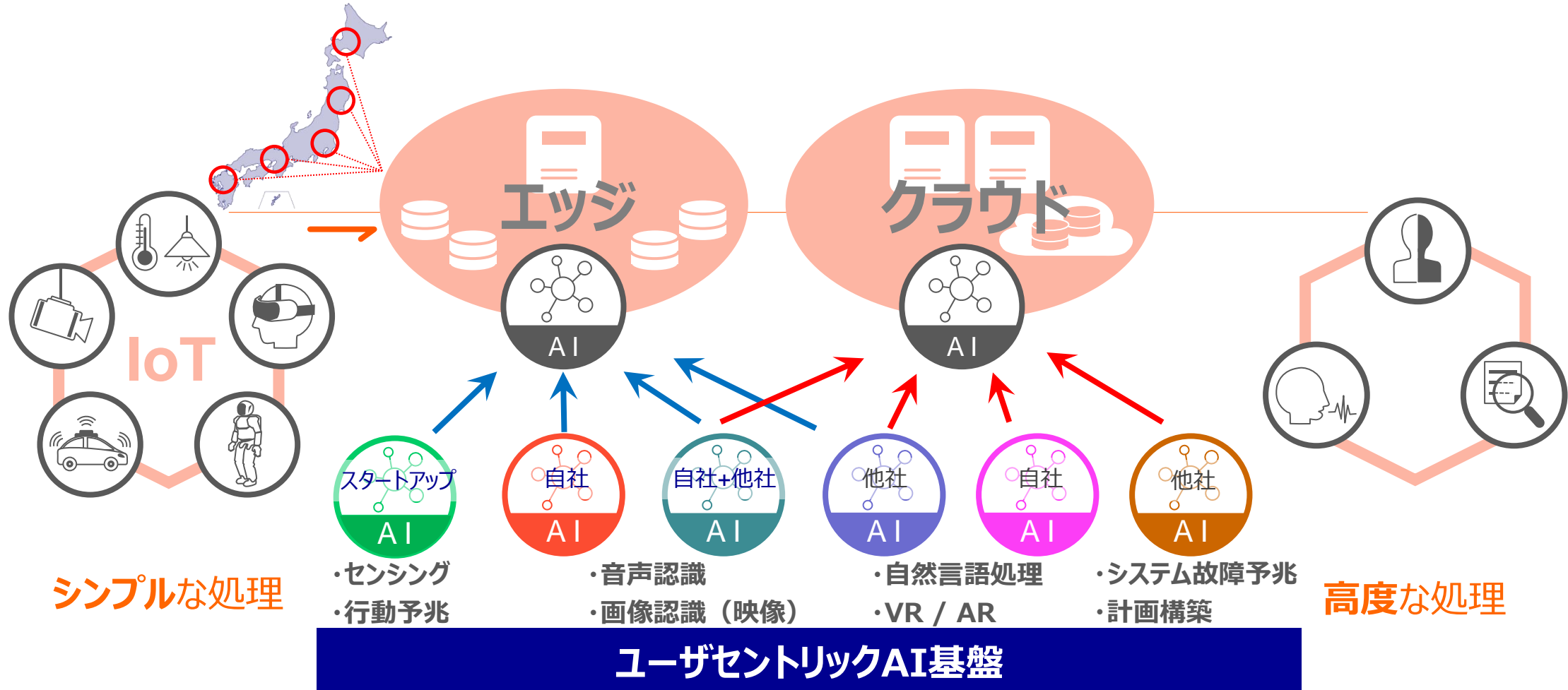
ネットワーク設計  
仮想化機能の設定  
エンド・エンドの  
試験工程



障害予兆検知  
復旧プラン参照  
予防保全のための  
仮想化機能の移行

# 膨大な収集データの適切な処理

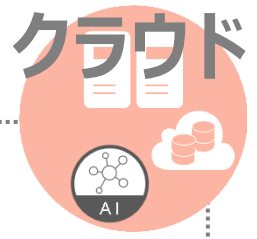
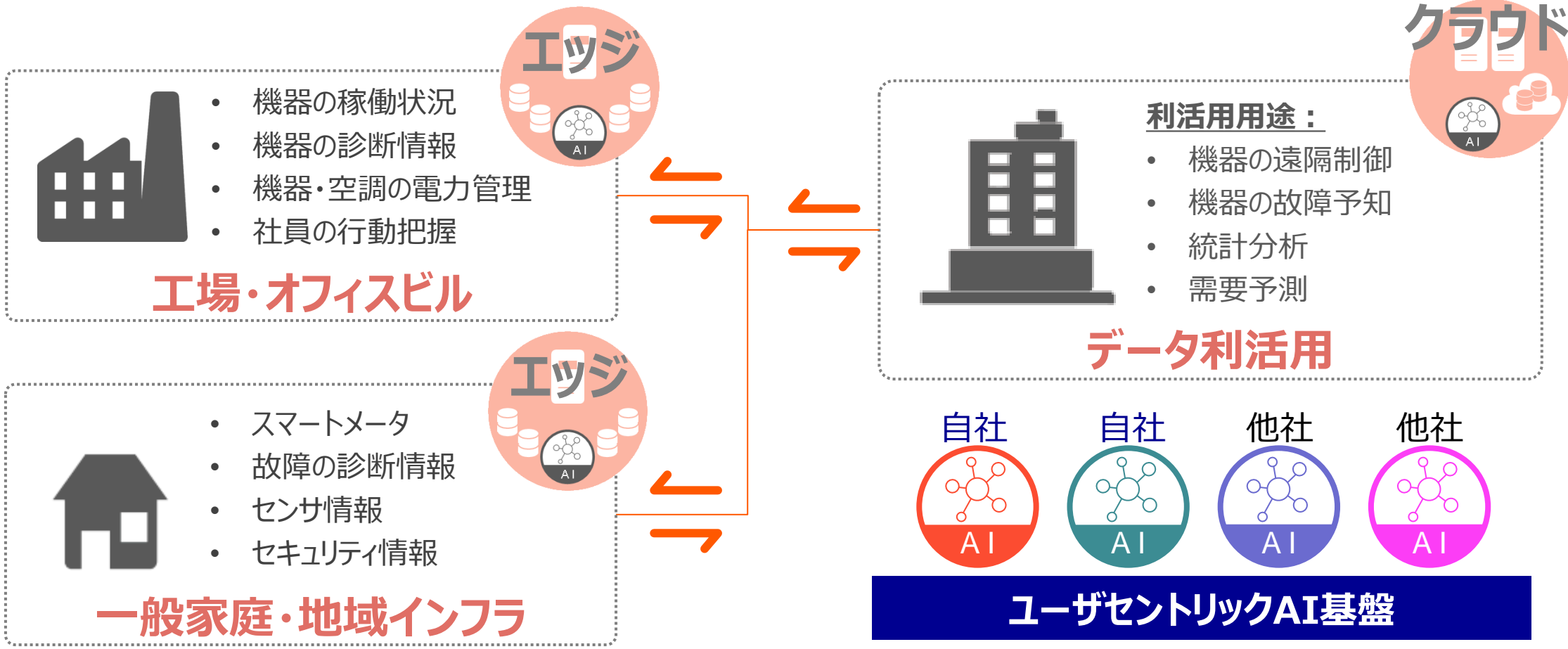
処理負荷と分析・用途のレベルが多様化するため  
処理簡素化を目的とした**計算資源の分散配置**が必要





# 実空間データの地域性とエッジの役割

広域でのデータ分析・利活用に加えて  
**地域性・即時性**を重視するサービスが可能に



利用者や利活用の範囲が都度変わるため  
柔軟なプライバシー管理とセキュリティが重要



## PPM

- 利用規約をわかりやすく表示
- サービス利用時の情報管理
- **開示可能な属性情報をユーザが選択**
- データ利活用基盤がポリシーを参照

PPM:  
プライバシー・ポリシー・マネージャ

### エッジ

- スマートメータ
- 故障の診断情報
- センサ情報
- セキュリティ情報

## 一般家庭・地域インフラ

### クラウド

**利活用用途：**

- 機器の遠隔制御
- 機器の故障予知
- 統計分析
- 需要予測

## データ利活用

# まとめ

- IoTによる未来社会の実現には、実空間データの利活用促進は不可欠
- データ利活用の促進にはAIの適用および強化が重要で、下記3要素の高度化が必要
  - ① 5Gや光ファイバでの高速なアクセス網
  - ② 多様なデータを処理するプラットフォーム
  - ③ 柔軟なプライバシー管理とセキュリティ
- IoTとAIによるNW高度化により、新たな顧客体験価値とデータ利活用ビジネスの創出を期待

*Designing The Future*

